

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- 4月 6日(水) 遠藤 美香さん(フルート演奏)
 - 4月11日(月) 木村 奏子さん(マリンバ演奏)
 - 4月18日(月) 星野 桂 さん(バイオリン演奏)
- 中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非お越しください。

北部病院公開講座のお知らせ

演題： 『女性のための健康講座 月経不順・子宮内膜症・更年期障害など-』
『腰痛について -高齢者の腰痛と坐骨神経痛-』

演者： 高橋 諄医師 (産婦人科・教授)
西山 嘉信医師(整形外科時・助教授)

日時：平成17年5月21日(土) 13:30~15:00 15:00~16:30

場所：西棟4階診療放射線専門学校講堂

定員：各100名(定員となり次第受付終了となります)

応募方法： 往復はがきにて必要事項を記載のうえ郵送ください。
申込み受付期間：平成17年4月11日(月)~5月9日(金)
確認事項：希望演題、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号)の5項目
お問合せ先：昭和大学横浜市北部病院公開講座担当 045-949-7000(代表)

詳細につきましては、病院だより(第30号)、院内掲示、広報よこはま(4月号)等でお知らせ致します。
今しばらくお待ちください。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(= 進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
病衣の色について	『入院の病衣を女性はピンク系にはいかがでしょうか?お考え下さい』とのご要望をいただきました。 当院で委託契約しているリネンの会社で取り扱っている病衣は、現在ご利用頂いている黄緑色のストライプのもの1点となり、残念ながらご要望に添うことは困難です。色デザイン等患者様ごとに好みがあると思われませんが、入院中は好きなものを着ていただくことも可能ですので病棟スタッフにご相談ください。ただし、ご病状によって治療を行ないやすい格好にさせていただくことがございますので、ご理解ご協力お願いいたします。
新券の対応について	院内の新券対応が遅れておりましたが、3/10までに自動会計機、駐車場精算機、自動販売機等主要な機器の新券対応が終了いたしました。その他の装置で対応ができていないものについては次の通りです。テレフォンカード自動販売機(全館)および医療用品販売機(地下1階)です。3月末までには改札後の新券が対応可能なものへ変更する予定です。ご不便をおかけいたしますが今しばらくお待ちください。
リスク提案カードについて	リスク提案カードについて、サイズが小さく書くところが少ないこと、名称が分かりづらい等のご意見を頂いておりました。 この度リスク提案カードを新規のものに変更することとなりました。サイズ及び名称等を変更しより患者様からのご意見や職員からのリスク対策の提案等を行ないやすいものに致しました。なお、新規カードは4月上旬から変更予定です。

編集後記

桜前線北上中のニュースが流れるようになり、春を身近に感じられるようになりました。この桜前線とは、日本各地の桜の開花する日を線で結び、天気図の前線のように描いた線で、始まりは意外に古く明治末から各地の気象台で開始され、戦後、気象庁が発表するようになったそうです。桜が開き始めると、日本の伝統行事「お花見」が開かれます。こちらの歴史はもっと古く奈良時代の頃から行なわれていたと資料が残っているそうです。4月が近づくと花見シーズン突入です。今年は古の歴史に浸りながらお花見を味わいたいと思いますが、お花見後のゴミが問題となっています。楽しんで後は始末を忘れずに!

広報委員会 委員 守屋 克之

北部病院だより 第29号
平成17年3月25日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより

第29号

第29号【2005/3/25 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『 糖尿病の現状と食生活 』
内科 教授 辻 正富

イベント情報

個人情報保護法講演会

ボランティアさんの紹介

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサート日程
北部病院公開講座のお知らせ

患者様からのご意見・ご要望



淡い黄と緑のハーモニー。暖かくなってきましたね。

巻頭言

『 糖尿病の現状と食生活 』

近年、糖尿病や高脂血症などの生活習慣病は著しく増加しています。糖尿病患者は平成14年で740万人と推定され、過去40年間で約70倍に増加し、最近5年間で50万人が増加しています。そして糖尿病有病率(1998年)は日本6.1%、米国6.5%とほとんど同じです。しかし同じ糖尿病であっても米国の糖尿病患者の肥満度(BMI)は平均30と巨大な肥満であるのに対し、日本の糖尿病患者のそれは平均24とやや小太り程度であることや、インスリンの分泌能力も米国人と比べ日本人は劣っている等のちがひがあります。このちがひは弥生時代以後牧畜生活の欧米人と異なり、農耕生活が中心で穀物を主食としてきた結果、形成された日本人の体質によると考えられています。穀物中心で、仏教の教えによって肉類摂取せず(明治時代まで)、蛋白質として魚類、大豆を多く摂取してきました。このような食生活ではインスリンの作用も分泌も少なくよかったです。



内科 教授 辻 正富

平安時代になり、日本も都市化が生じるようになり、上流貴族は牛車に乗り、密猟でイノシシやキジをとって食べていたことが記録されています。我が国最初の糖尿病患者は、この時代の関白藤原道長と記録されています。口渇、多尿、倦怠感等の糖尿病の症状を訴え、狭心症を起こし、その後糖尿病性網膜症で失明しています。道長の兄弟にも糖尿病があり、体質が遺伝する可能性が当時既に示唆されています。このように都市型社会で糖尿病(当時は飲水病といわれた)が出現しているのです。現在はこの状態が広く一般庶民に生じていると考えることができます。

食事摂取カロリーは縄文時代から現在に至るまであまり大きな変化はありませんが、40年前から急に動物性脂肪(飽和脂肪酸)を大量に摂るようになり、この飽和脂肪酸がインスリン抵抗性を生じ、インスリン分泌が十分対応できないため、糖尿病を発症させる一つの要因となっています。今、再度日本的な食事を見直す時期と思われます。日本の伝統的な食事に戻って動物性脂肪を減らすことです。家庭料理の簡単化、調理済食品や外食の増加が動物性脂肪を増やす結果ともなっています。その他、砂糖や果物の摂取量を減らすことも大切です。これらは内臓脂肪を増加させ、インスリンの抵抗性をもたらします。昔の果物は糖度の低いものが多かったが現在は逆に糖度の高い果物が好まれるようになり、昔は食べる機会のなかったメロンなども常用果物となり、果糖の過剰摂取が心配されます。一方でんぷん質の摂取量が減少、すなわち日本人は米離れの状態となっています。その他食物繊維の摂取も減少しています。これらの食生活の変化は元来日本人の体質に合った食事ではないのです。昔から、精進料理が知られていますが、精進とは「美食を戒め、粗食であれ」との意味のようですが、栄養学的には生活習慣病予防に合致しているといわれています。また昔からの郷土料理も大切にすべきです。長寿県であった沖縄県も伝統的な郷土料理を摂取する機会が少なくなってきたのか、平均寿命の低下がみられています。21世紀の食生活は視点を変え、「食」の原点に戻り、日本の風土、日本人の体質に適った食べ方、すなわち精進料理などの伝統的な食生活を再評価して、最新の栄養学を駆使した食生活を創造していかななくてはならないと考えています。同時に積極的な運動ももちろん重要です。藤原道長にならないために。

北部イベント

個人情報保護法講演会

西棟4階診療放射線専門学校講堂

2月28日(月)18時より、西棟4階講堂におきまして、個人情報保護法の特別講演会を開催いたしました。東京大学大学院情報学環の山本隆一助教授を講師にお招きし、『大学病院における個人情報保護』という演題で、平成17年4月1日より全面実施される「個人情報保護法」の概論と法施行に際して医療機関としてどのような対応が必要になるのかについて、1時間半にわたり講演いただきました。

個人情報保護法では、単に個人情報の漏洩防止だけでなく、自己情報のコントロール権があります。つまり、ご自身の情報に関して、ご自身がどのように使用されるかを決定できる権利です。講演会においては、自己情報のコントロール権がいかにプライバシーの保護の観点から重要であるかのお話を、プライバシーの概念の変遷、事例等を挙げてお話いただきました。

山本助教授は昨年末に厚生労働省より示された「医療・介護関係事業者における個人情報保護の適切な取り扱いのためのガイドライン」の検討委員会のメンバーでもあり、ガイドラインのポイントについても解説していただきました。このガイドラインは、医療機関が「個人情報の保護に関する法律」に基づき個人情報の適切な取り扱いを確保する為のものであり、また、厚生労働大臣が法施行する為のものです。したがって医療機関(小規模事業者は除く)はこのガイドラインに基づいた対応が必要となります。

講演会には200名を超えるスタッフが参加しました。各自個人情報保護についての認識を高めると同時に、各部署でどのような注意が必要かを再認識することの出来た講演会でした。

北部病院においては、法を遵守し、患者様の個人情報・診療情報が適切に管理できるよう、運用の再整備を行い安全な管理システムを構築いたします。詳しくは今後掲示等される文書をご覧ください。



ボランティアさんの紹介

今回は昨年8月より毎週金曜日に小児病棟(中央棟4階B病棟)で活躍してくださっている学生ボランティアさんの紹介です。



山田 純子さん・杉本有佳子さん
(第28号にて紹介)

杉本 有佳子さん

ボランティア活動を始めて7ヶ月が経ちました。私は現在、毎週金曜日の午後、小児病棟で活動させていただいています。ボランティアをやると思ったきっかけは、義務感からではない、自主的な活動をしてみたいと思ったからです。

ちょうど午前の面会終了時間から始まる私の活動は、「ママー」という子供たちの泣き声とともに始まります。泣いている子供を抱っこしてあやしたり、絵本を読んだり、小学生に勉強を教えたりと活動内容はその日によって様々です。ミルクをあげたり、おしめを交換することもあります。今まで子供と接する機会がほとんどなかった私は、毎週試行錯誤の連続です。たった3時間の活動ですが子供たちと接した後はとても暖かい気持ちになります。

ボランティア活動をしていると、自然と様々な人と接する機会が多くなります。活動前は、大学の中での自分の周りの世界だけが標準だと思い込んで生活していました。しかし、活動を通じて、少しずつ外の世界も見え、それと同時に自分の生活を見直す機会も増えました。

たいしたことをしている訳ではないけれど、私と一緒にいて子供たちが笑顔を見せてくれた時にはとても暖かい気持ちになります。このような貴重な経験をさせていただいてとても感謝しています。この経験を大切に、日常の生活の中でも困っている人に自然と手を差し伸べることができるような人間になりたいと思います。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

3/1付【2/2~3/1】

異動・退職医師

2/28付【2/1~2/28】

鈴木 純 (整形外科)

昭和大学

平成11年度卒

専門分野：整形外科一般

【異動】

山村 拓也

(昭和大学医学部 救急医学科へ)

診療統計

2005年1月統計データ()内は1日平均

外来患者数 27,600人(1200.0人)、入院患者数 16,380人(528.4人)、救急車搬送件数 454人(14.6人)、手術件数 370件(18.5件)

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成17年3月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆(初再診)		鹿間裕介(再診)	大塚寿々子(初診)	医局員	医局員	鹿間裕介(初再診)	神尾義人(再診)	門倉光隆(初再診)	栗生和幸(初診)	医局員(初診)
	笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初診)	松田正典(初診)		中神和清(再診)		笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初診)	笠原慶太(初再診)	大塚寿々子(再診)	
	北見明彦(再)		中島宏昭(初)				松田正典(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)		
消化器センター	佐々木廣仁(内科消化器)	佐々木廣仁(一般内科)	田中淳一(内科消化器)	大塚和朗(内科消化器)	請川淳一(循環器不整脈)	請川淳一(循環器不整脈)	井上晴洋(内科血液)	井上晴洋(内科血液)	大塚和朗(一般内科)	大塚和朗(内科神経)	土曜初診1
	竹内 司(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	加藤博久(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	大野恭史(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	日高英二
	春日井尚(内科血液)	福井俊哉(内科血液)	福井俊哉(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	里館 均
	佐藤嘉高(内科神経)	井上幸治(内科神経)	井上幸治(内科神経)	中山文義(腎第1火休診)	井上幸治(内科神経)						大前芳男
	山村冬彦(内科消化器)	渡邊浩之(一般内科)	渡邊浩之(一般内科)	木村 聡(内科・感染症)							大前芳男
					岩下方彰(偶)			工藤進英(特殊診)			土曜初診2
循環器センター	緒方信彦	丸田一人	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		岡林宏明	加藤源太郎	医局員
					芦田和博					西巻博(第3)	
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		松丸憲太郎			秋元洋一		西岡玄太郎	古田伸夫
精神神経科(再診)	伊川太郎		秋元洋一		西岡玄太郎			吉益晴夫		工藤行夫	松丸憲太郎
精神神経科(再予)	池澤 豊		鄭 英徹		古田伸夫			石渡康宏		青山 洋	小城幸乃
精神神経科(再予)			医局員		医局員		松丸憲太郎(物忘れ外来)	医局員		医局員	古田伸夫(物忘れ外来)
緩和ケア											中村明央
事前予約のみ											
内 科(23-2)	山田真帆(内科消化器)	大野恭史(一般内科)		山田真帆(内科消化器)	菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内 科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	大野恭史(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内 科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科血液)	福井俊哉(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)
内 科(25-1)	井上幸治(内科神経)			中山文義(腎第1火休診)	井上幸治(内科神経)						
内 科(25-2)		渡邊浩之(一般内科)	渡邊浩之(一般内科)	木村 聡(内科・感染症)							渡邊浩之(一般内科)
内 科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)			田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)		
内 科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	山本真寛(一般内科)	山本真寛(一般内科)	山本真寛(一般内科)	山本真寛(一般内科)	山本真寛(一般内科)
内 科(25-6)		三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)
内 科(25-7)			辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(内科腎臓)	辻 正富(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病、内分泌)
小 児 科	野中善治	神経外来予防接種	梅田 陽	乳児検診 7月-7月 外来	北澤重孝	心臓外来 腎臓外来	野中善治	成育外来 7月-7月 外来	梅田 陽	乳児検診 7月-7月 外来	医局員
小 児 科	曾我恭司		曾我恭司		梅田 陽		曾我恭司		京田学晃		医局員
小 児 科	高野忠将		野中善治		京田学晃	心理相談	松岡 孝	心理相談	高野忠将		医局員
小 児 外 科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 真田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造		島田洋子		濱口太造		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	濱口太造	松村卓美	宋 寅傑	濱口太造	濱口太造	松村卓美	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	
皮膚科(再16-2)	松村卓美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	佐々木雅美	外科手術	松村卓美	外来手術	佐々木雅美	外科手術	
外 科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村(奇) 新井・山崎(偶)
外 科					山崎智己		福成信博(第1木)	井関雅一(偶)	成原健太郎	岩波正英(偶)	黒井克昌(偶土のみ)
形成外科	大塚尚治		[手術日]		大塚尚治		[手術日]		大橋正和		大塚(奇) 大橋(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人(診断書外来)		医局員		広田暢夫	退院後外来	畑山和己		広田暢夫		池田・広田(偶) 畑山和己(奇)
脳神経外科(再診)	畑山和己(予約のみ)		医局員		池田尚人		広田暢夫		池田尚人		池田尚人(奇)
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診 予約のみ	鈴木 純		松久孝行	ギプス診 予約のみ	鈴木 純		八木貴史		医局員
整形外科	川崎恵吉		齋藤 元		八木貴史		川崎恵吉		齋藤 元		
産婦人科(初診12-7)	鈴木紀雄(奇)	安藤直子(偶)	高橋 諄(中山 健)		高橋 諄(御子柴尚郎)		小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科(産科12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄		
産婦人科(産科12-6)	高橋 諄		中山 健				御子柴尚郎				特殊診 予約のみ
産婦人科(産科12-8)	小川公一		鈴木紀雄		近藤哲郎		高橋 諄		安藤直子		特殊診 予約のみ
産婦人科(産科12-6)			中山 健		御子柴尚郎				栗城亜具里		
泌尿器科(初診11-1)	佐々木春明	椎木(検査) 予約のみ	椎木一彦		深澤 立	深澤(検査) 予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一(再診)	島田 誠	菅原 草(再診)	
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来) 予約のみ	深澤 立		青木慶一郎	青木(検査) 予約のみ	椎木一彦		佐々木春明	佐々木春明(男性外来予約)	医局員(初再診)
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ	
眼 科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直	特殊診(紀平)	紀平弥生		小池正直	特殊診(小池)	紀平弥生		小池正直(奇) 紀平弥生(偶) 玉井裕子(奇) 岡田法子(奇)
眼 科	中村 徹		中村 徹	特殊診(中村)	玉井裕子		紀平弥生	特殊診(紀平)	玉井裕子		中村 徹(奇)
眼 科	岡田法子	特殊診(岡田)	岡田法子	特殊診(岡田)			岡田法子	特殊診(岡田)	中村 徹	特殊診(中村)	中村 徹(偶)
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸(初診)	腫瘍甲狀腺外来 予約のみ	池田尚弘(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来 予約のみ	柳/徳丸(初診)	いびき外来 予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	徳丸岳志(再診)				レザ- 外来 予約のみ		門倉義幸(再診)				
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎	小児外来 予約のみ			池田尚弘(再診)				
耳鼻咽喉科13-5	油井健史(再診)						補聴器外来K 予約のみ		補聴器外来N 予約のみ		歯科装具 予約のみ

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二です。